

在宅医療の仕組みを支える医師会の活動

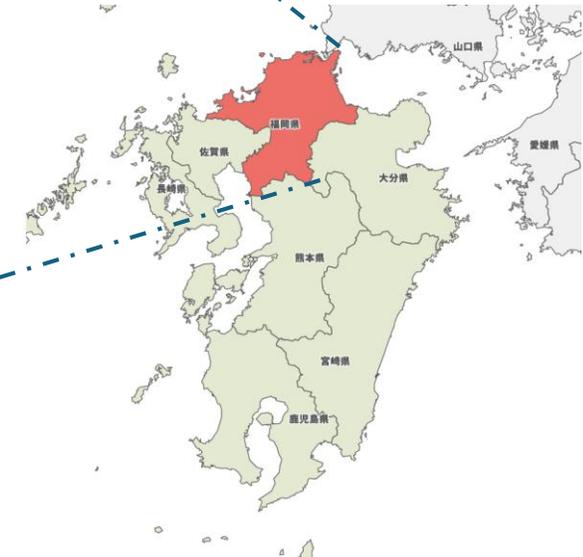
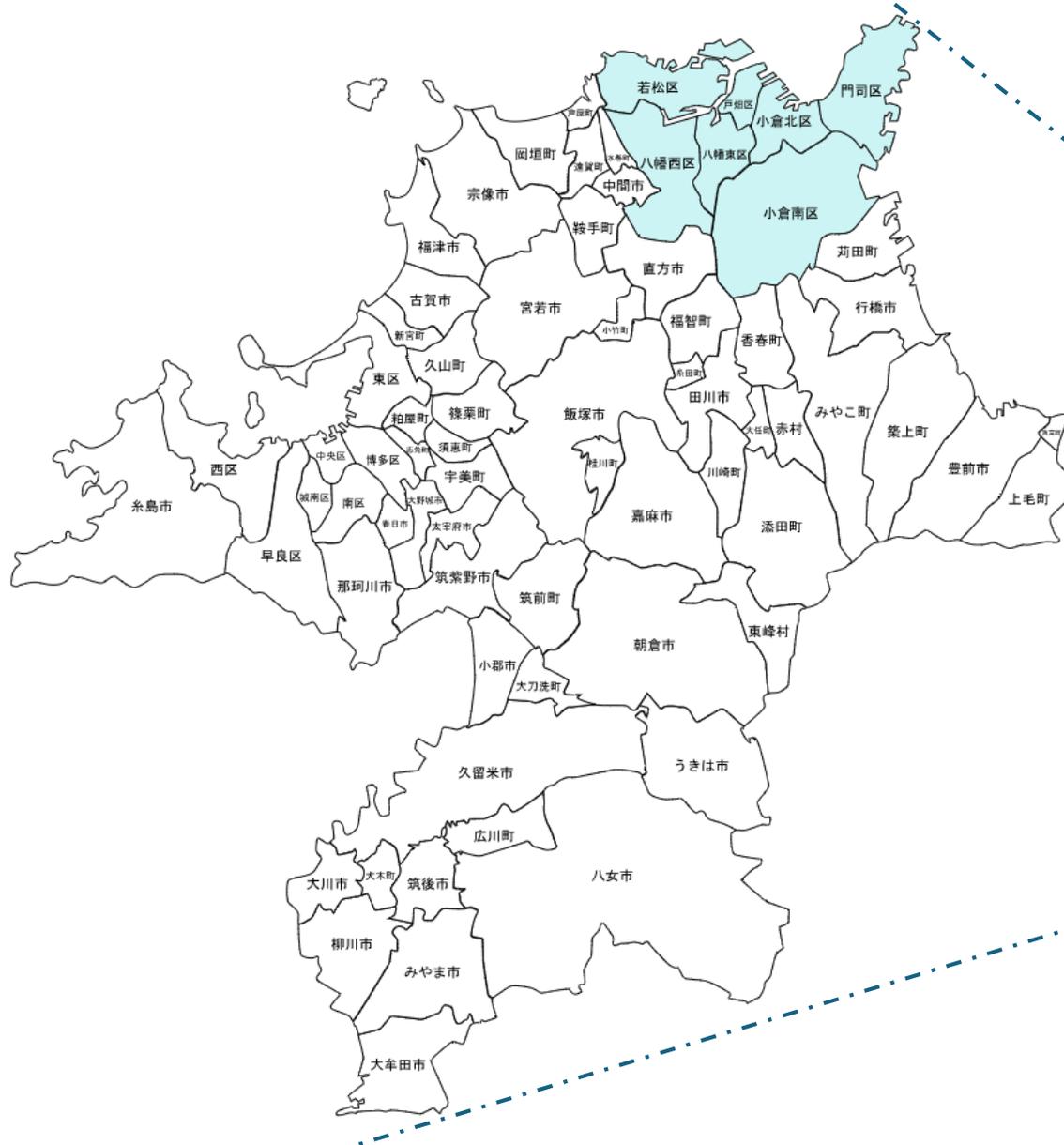
— 八幡医師会の実践から —

北九州市八幡医師会 会長 西田英一

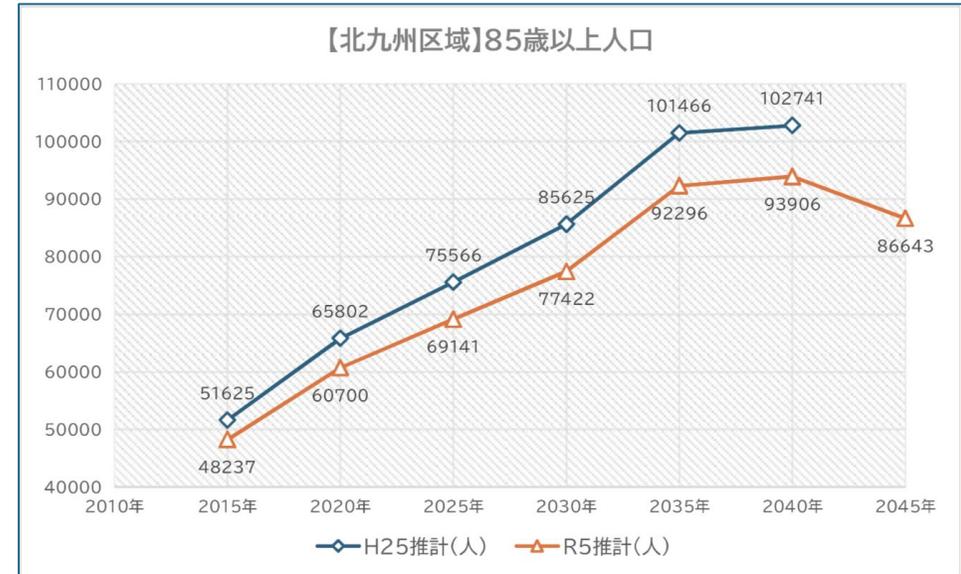
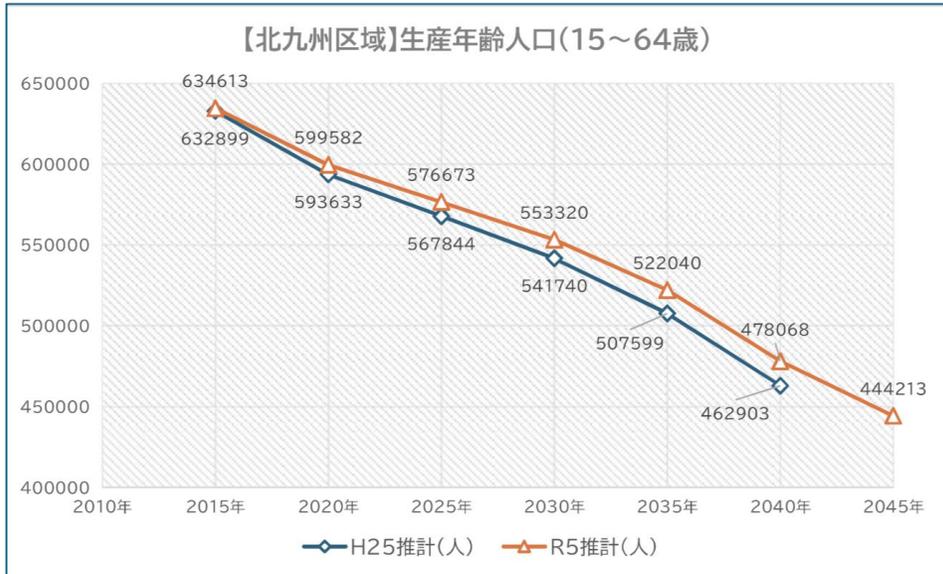
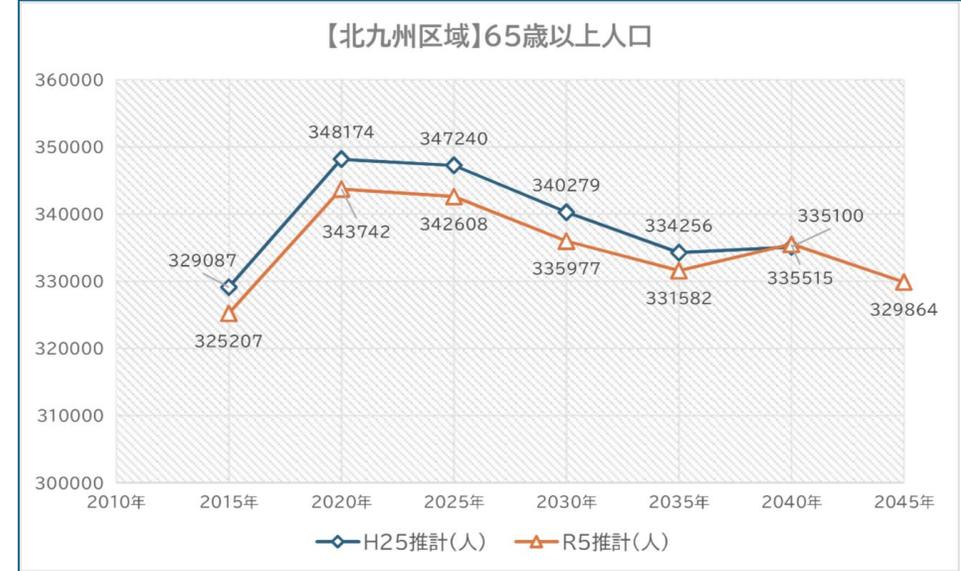
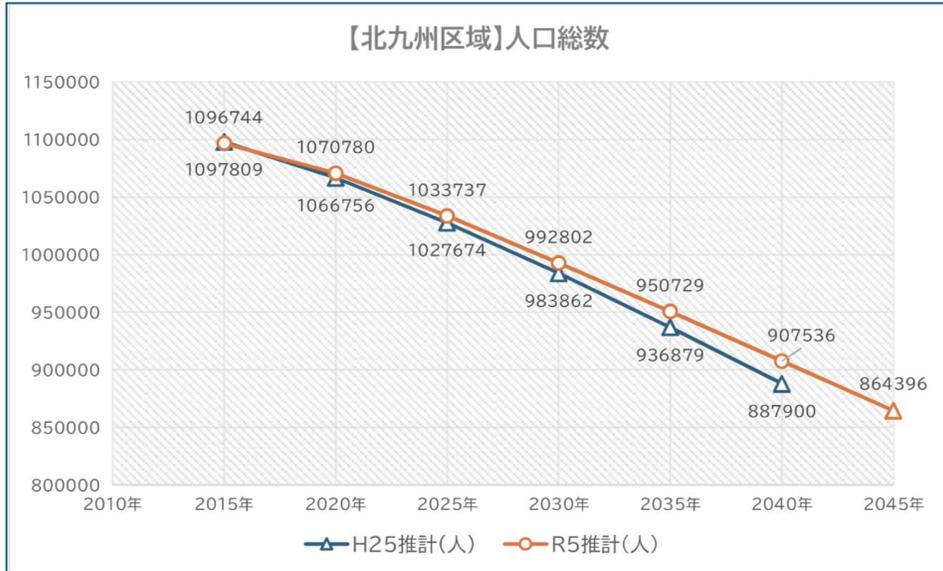
本日の内容
～ 八幡医師会の取り組み ～

- 八幡在宅医会 (2016年11月～)
- 八幡在宅医療推進協議会 (圏域活動) (2024年2月～)
- 八幡医師会立はっちい診療所 (2025年4月～)
- 八幡地域医療研修パッケージ (2025年12月～)

北九州市八幡医師会の管轄



北九州区域の将来推計人口推移



本日の内容
～ 八幡医師会の取り組み ～

- 八幡在宅医会 (2016年11月～)
- 八幡在宅医療推進協議会 (圏域活動) (2024年2月～)
- 八幡医師会立はっちい診療所 (2025年4月～)
- 八幡地域医療研修パッケージ (2025年12月～)

■ 八幡在宅医会

背景 (2016年当時)

- ① 八幡地区に公的な急性期病院が4つ、大学病院が1つある。
- ② 在宅医療を行なっている医療機関や医師が少ない。
- ③ 在宅見取りの数が、全国平均や福岡県の平均より少ない。

目的

- ① 現在、在宅医療を行っている医師や在宅医療に関心を持つ医師同士の連携を図り、研鑽し、親睦を深めること。
- ② 今後、在宅医療を始めたいと思っている医師が安心して在宅医療を行えるようにして、八幡地区における在宅医療を充実させる。

■ 八幡在宅医会

活動内容

- ① 毎月第1月曜日に定例会を開催し、毎回懇親会を行う。
- ② 3ヶ月に1回役員会を開催。
- ③ 在宅見取りバックアップ体制
- ④ 年会費は6,000円（月500円）、メーカーの支援なし

<司会 医療法人 野田医院 院長 西田 英一 先生>

1 【講演】 (19:00~20:10)
『保険診療の勉強会、在宅診療、外来診療2024』
講師:医療法人 中村医院 中村内科クリニック 院長 中村 和生 先生

2 【報告・ディスカッション】 (20:10~)
『当番性について』 他 藤本 裕司 先生

※今回は現地のみでの開催といたします。Web配信はございませんのでご了承ください。
※会場にお越しの際はマスク着用をお願いします。
※発熱や感冒症状など体調不良のある方は、来場をご遠慮ください

<司会 浅川学園台在宅クリニック 院長 河野 精一郎 先生>

1 【講演】 (19:10~20:10)
『経鼻経管を離脱した症例』
講師:製鉄記念八幡病院2年次研修医 川崎 健史 先生
医療法人 権頭クリニック 権頭 聖 先生
『看取りに向けて医師・訪問看護・ケアマネジャーの対応』
講師:浅川学園台在宅クリニック 河野 精一郎 先生
八幡医師会訪問看護ステーション 有川 美紀 様
八幡医師会 介護保険総合センター 若杉 麻紀 様

2 【報告・ディスカッション】 (20:10~)
『当番性について』 他 藤本 裕司 先生

<司会 医療法人 権頭クリニック 院長 権頭 聖 先生>

1 【講演】 (19:00~20:10)
『困った症例について』 ※症例提示で意見交換を行います
講師: JCHO九州病院 臨床研修医 増永 峻 先生
谷内科クリニック 院長 谷 良樹 先生
浅川学園台在宅クリニック 院長 河野 精一郎 先生
健和会町上津役診療所 所長 川本 京子 先生

2 【報告・ディスカッション】 (20:10~)
『当番性について』 他 藤本 裕司 先生

※今回は現地のみでの開催といたします。Web配信はございませんのでご了承ください。
※会場にお越しの際はマスク着用をお願いします。
※発熱や感冒症状など体調不良のある方は、来場をご遠慮ください
※新型コロナウイルスの流行状況などによっては開催形式の変更または中止の判断をすることがあります

八幡在宅医会 定例会テーマ

<司会 北九州市立総合療育センター 奈須 康子 先生>

1 【講演】 (19:00~20:10)
『悪性リンパ腫の1例』
講師:製鉄記念八幡病院 研修医 谷 有紗美 先生
谷内科医院 院長 谷 良樹 先生
『訪問看護ステーション等地域力とのチームビルド
~日頃からのACPの取り組み~ 「どうやって連携するの
講師:地域医療振興協会 シティタワー診療所
管理者・医師 島崎 亮司 先生

2 【報告・ディスカッション】 (20:10~)
『当番性について』 他 藤本 裕司 先生

※今回は現地のみ
※発熱や感冒症状
※感染症の流行状

<司会 健和会町上津役診療所 所長 川本 京子 先生>

1 【講演】 (19:00~20:10)
『訪問歯科診療について』
講師: DENTAL 4C 松崎 友祐 先生

2 【報告・ディスカッション】 (20:10~)
『当番性について』 他 藤本 裕司 先生

※今回は現地のみでの開催といたします。Web配信はございませんのでご了承ください。
※会場にお越しの際はマスク着用をお願いします。
※発熱や感冒症状など体調不良のある方は、来場をお控えください。
※感染症の流行状況などによっては開催形式の変更または中止の判断をすることがあります

<司会 ふじもと内科クリニック 院長 藤本 裕司先生>

1 【講演】 (19:00~20:10)
『福岡県医師会における在宅医療への取り組み
~特に医療計画、地域医療構想を見据えた取り組みを中心に』
講師:公益社団法人 福岡県医師会 常任理事 辻 裕二 先生

2 【報告・ディスカッション】 (20:10~)
『当番性について』 他 藤本 裕司 先生

※現地のみでの開催です。
※感染症の流行状況などによっては開催形式の変更または中止の判断をすることがあります

在宅看取りバックアップ体制

- ① 在宅医会のメンバーで当番制をとって、土日祝日の看取りの対応を行う。
- ② 対象は、在宅医会会員が訪問している患者で、あらかじめ当番医が看取りを行う同意を得ている場合。
- ③ 当番医への手当は、実際に看取りや訪問を行った場合に主治医が謝礼を支払う。
- ④ 実績は年間10件くらい。
- ⑤ 行政等からの資金支援はありません。

本日の内容
～ 八幡医師会の取り組み ～

- 八幡在宅医会 (2016年11月～)
- 八幡在宅医療推進協議会 (圏域活動) (2024年2月～)
- 八幡医師会立はっちい診療所 (2025年4月～)
- 八幡地域医療研修パッケージ (2025年12月～)

■ 八幡在宅医療推進協議会

— 多職種による地域包括圏域活動 —

背景

- ① 多職種連携を推進する活動は、在宅医療・介護連携支援センター主催の多職種連携研修会のみ。
- ② 単なるグループワークだと、研修後も続く関係構築ができない。

目的

- ① 多職種連携をより強化するため、小さな地域単位で顔の見える関係を構築する。

■ 八幡在宅医療推進協議会

— 多職種による地域包括圏域活動 —

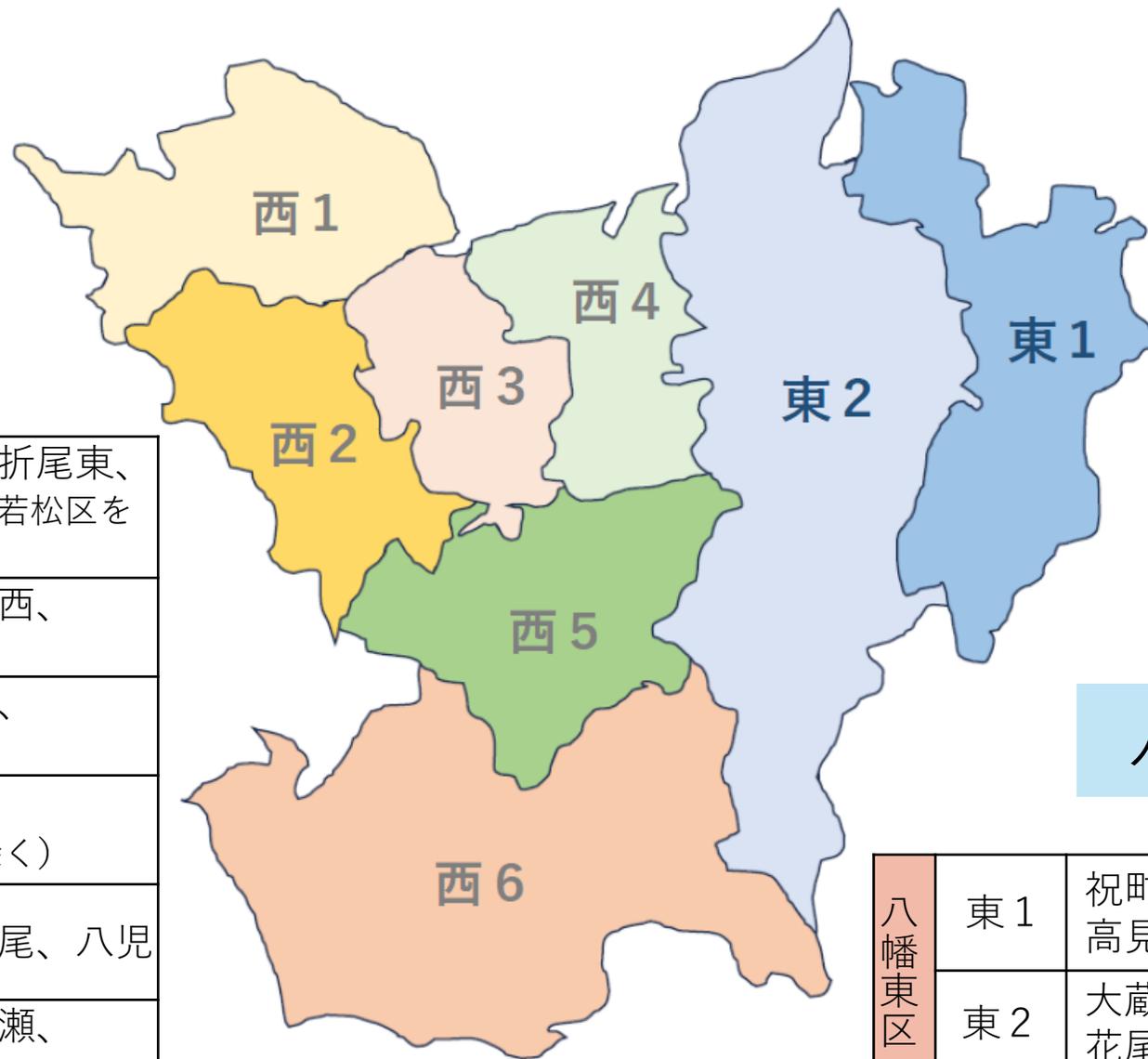
活動内容

- ①八幡地区を地域包括支援センター圏域の**8つに分割**し、多職種チームを作る。
- ②各圏域ごとに在宅医療・介護に関わる専門職3名（医師を含む）が**世話人**として活動。
- ③研修会や交流会の企画は、各圏域の世話人に任せる。
- ④各圏域ごとにSNSグループを作り、情報伝達などを行う。
- ⑤各圏域の世話人は、2ヶ月に1度開催される「**八幡在宅医療推進協議会**」に出席。
- ⑥協議会にて各圏域の活動内容を報告し、共有する。

八幡東西区地域包括圏域

八幡西区

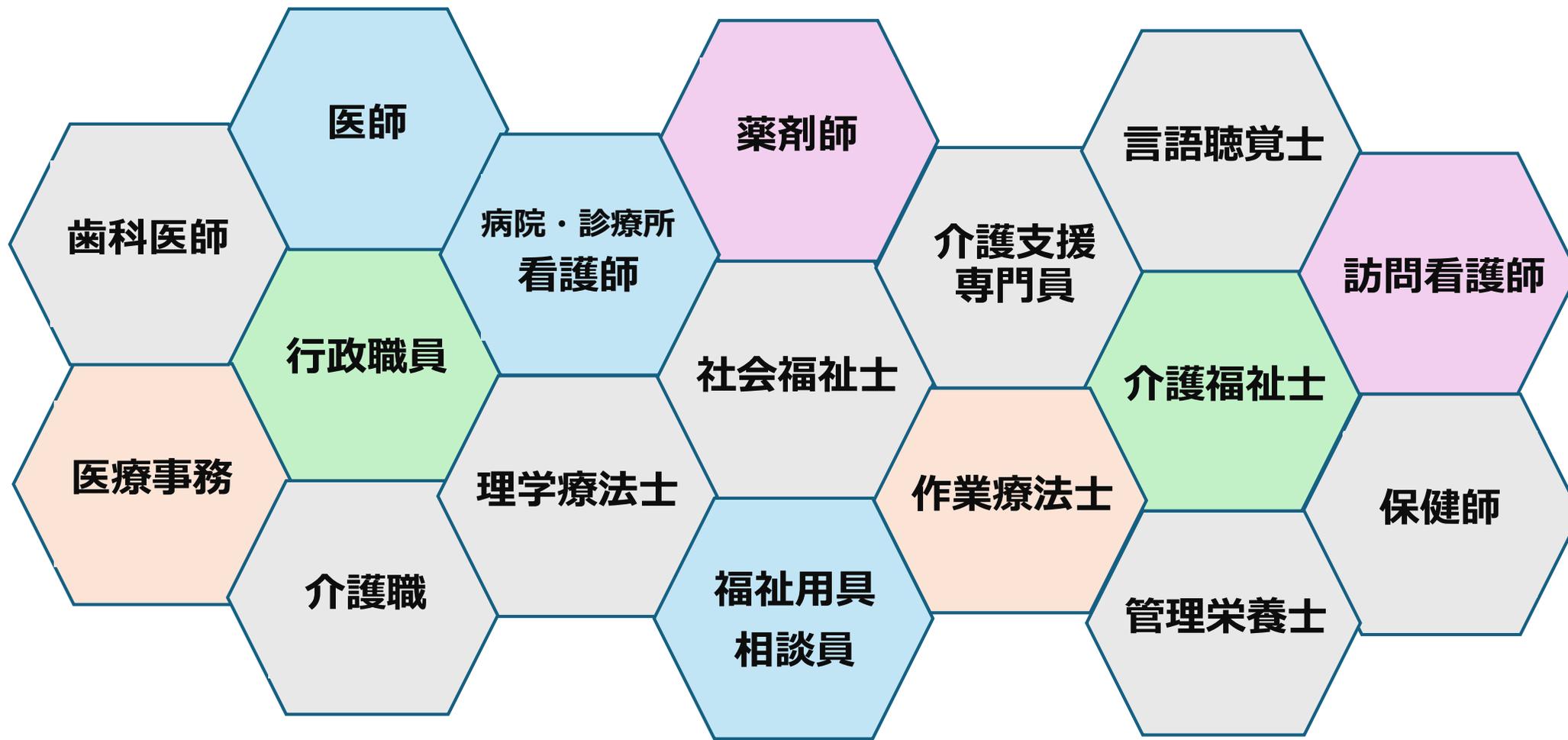
八幡西区	西 1	赤坂、浅川、医生ヶ丘、折尾東、本城、光貞、ひびきの（若松区を除く）
	西 2	永犬丸、永犬丸西、折尾西、則松、八杖
	西 3	青山、穴生、熊西、竹末、萩原、引野
	西 4	黒畑、黒崎中央、筒井、鳴水、花尾（八幡東区を除く）
	西 5	大原、上津役、塔野、中尾、八児
	西 6	池田、香月、櫛橋、木屋瀬、千代、星ヶ丘



八幡東区

八幡東区	東 1	祝町、枝光、高槻、ひびきが丘、高見（小倉北区を除く）、槻田、
	東 2	大蔵、河内、皿倉、花尾（八幡西区を除く）、八幡

参加者の職種



■ 八幡在宅医療推進協議会

— 多職種による地域包括圏域活動 —

活動内容

- ①八幡地区を地域包括支援センター圏域の**8つに分割**し、多職種チームを作る。
- ②各圏域ごとに在宅医療・介護に関わる専門職3名（医師を含む）が**世話人**として活動。
- ③研修会や交流会の企画は、各圏域の世話人に任せる。
- ④各圏域ごとにSNSグループを作り、情報伝達などを行う。
- ⑤各圏域の世話人は、2ヶ月に1度開催される「**八幡在宅医療推進協議会**」に出席。
- ⑥協議会にて各圏域の活動内容を報告し、共有する。

圏域活動を周知する取り組み

- ✓各圏域ごとの事業所一覧表を作成し世話人へ配布
- ✓各圏域で活動PRポスターを作成
- ✓八幡東西区事業所へFAX等で周知
- ✓研修会開催の際は研修ポスターをFAXや直接事業所へ持参
- ✓八幡在宅医療・介護連携支援センターで行う研修会でも圏域活動をPR

八幡在宅医療推進協議会のご案内

八幡西1圏域の取り組みについて
皆さんの興味のある研修内容や参加しやすい事業所や職種の方に参加して頂き、地域に出来ればと考えています。
既に開催した情報交換会も多くの方からご参加を頂きました。研修会や交流会もこのように考えています。皆さんと一緒に作り上げていく是非ご参加ください。



八幡西3・4合同圏域
八幡医師会では、福岡県在宅医療提供体制充実強化事業の補助金を活用し、「誰もが住み慣れた地域で安心して療養できる福圏域」を目指し、医療・介護従事者に対する専門的な知識を高める取り組みや、地域における在宅医療提供体制の充実を図る事を目的に、地域包括支援センター一圏域ごとに圏域活動を令和5年度より開始致しました。

- 活動の取り組みについて
地域医療・在宅医療の様々な問題を解決するための研修会・交流会を、2ヶ月に1回開催しております。
- 活動の特徴について
圏域の医療機関と、地域医療・在宅医療において多職種の連携の強化・関係作りを目指しています。
- 最も力を入れていること
研修会・交流会を通して、職種に関係なく何でも話し合える「顔の見える」関係の構築。
地域医療・在宅医療での困った事案を多職種で検討し、チームワークの強化に努めています。

八幡西5圏域 活動案内
(大原・上津役・塔野・中尾・八尾)

八幡医師会では、福岡県在宅医療提供体制充実強化事業の補助金を活用し、「誰もが住み慣れた地域で安心して療養できる福圏域」を目指し、医療・介護従事者に対する専門的な知識を高める取り組みや、地域における在宅医療提供体制の充実を図る事を目的に、地域包括支援センター一圏域ごとに圏域活動を令和5年度より開始致しました。

- 医療・介護の従事者が自身の知識・技術の研鑽・向上のために集まっています。
- 物に顔の見える関係づくりをすすめるために、研修会や懇話会などの開催を予定しています。
- 地域の方も交えて、近隣の医療・介護者ももつていきます。

専門性の向上
知識や技術を学び自身の研鑽

定期的に参加でき、気軽に一度だけでの参加でも大丈夫です。様々な職種の方の参加を歓迎しております。

【お問合せ先】
西5圏域
西3圏域 世話人(代表) 萩原中央病院 介護支援センター
又は訪問看護ステーション
又は訪問看護ステーション
又は訪問看護ステーション
又は訪問看護ステーション

多職種が寄りましょ！

西6圏域

交流会のご案内

現在、徐々に水曜院第二おかげをお借りして実施しています

西6圏域の特徴

- 01 医者や病院職員の協力がある
- 02 2ヶ月に1回程度集まりで会費や研修会を計画・実施している
- 03 現地に無理なく活動している

八幡医師会での取り組み

八幡医師会では福岡県在宅医療提供体制充実強化事業の補助金を活用し、「誰もが住み慣れた地域で安心して療養できる福圏域」を目指し、医療・介護従事者に対する専門的な知識を高める取り組みや、地域における在宅医療提供体制の充実を図る事を目的に、地域包括支援センター一圏域ごとに圏域活動を令和5年度より開始致しました。

いろいろな職種で集まり意見交換ができます。懇話会も時々楽しく行っています。

ご相談窓口

ご質問、お問い合わせがありましたら、お気軽にお問い合わせください。お問い合わせ先は、研修会開催のご案内や情報交換グループLINEを活用してまいります。

八幡東1圏域交流

2ヶ月に1回のペースで交流会を「困りごと」、「悩み」の相談にポストイットやお題を出し合い、意見交換を行うスタイル

【お問合せ先】
八幡在宅医療推進協議会
八幡東1圏域
〒814-0001 八幡東区
TEL: 092-834-1111
FAX: 092-834-1112
E-MAIL: hachioji@hachioji-hp.jp

あなたの周りには優秀な“ソ”
スペシャリストが

八幡医師会では福岡県在宅医療提供体制充実強化事業の補助金を活用し、「誰もが住み慣れた地域で安心して療養できる福圏域」を目指し、医療・介護従事者に対する専門的な知識を高める取り組みや、地域における在宅医療提供体制の充実を図る事を目的に、地域包括支援センター一圏域ごとに圏域活動を令和5年度より開始致しました。

現在、在宅医療提供におけるニーズは多岐に渡り、それぞれの専門性が必須であり、これら関係機関との連携支援体制の充実を図るネットワークの構築が急がれています。
八幡東2圏域においては、多職種間での垣根を取り除いた意見交換会や勉強会を実施し、「今この方にとって最も必要な支援サービス」への適切なアプローチと継続的な支援のあり方を模索しています。
住み慣れた街で安心・安全な支援サービスを受けながらいまでも生活できる専門的な医療・適切な介護サービスが十分に活用され、利用者様やご家族様にとって、暮らしやすい生活環境を提供します。
令和5年度より開始したこの新しい取り組みにあなたも参加しませんか？
あなたの力がもっと誰かの笑顔につながります。

【お問合せ先】
八幡東2圏域
八幡東区
〒814-0001 八幡東区
TEL: 092-834-1111
FAX: 092-834-1112
E-MAIL: hachioji@hachioji-hp.jp

圏域ごとの活動内容 (例)

東1

R6.1.11	R6.3.12	R6.5.20	R6.7.16	R6.9.26	R6.12.6	R7.2.27	R7.5.11
交流会	交流会	交流会 「困りごと」	交流会 「困りごと」	交流会 「困難事例検討」	オープン研修会 「栄養について」	交流会 「意見交換」	交流会 「親睦会」

東2

R6.4.18	R6.6.10	R6.8.21	R6.11.1	R7.4.8
交流会 「研修検討会」	研修会 「介護報酬改定」	研修会 「AYA世代」	オープン研修会 「訪問入浴」	交流会

他圏域からの参加も
OKの研修

西1

R6.3.7	R6.6.20	R6.9.19	R6.11.14	R6.12.5	R7.4.10
情報交換会	オープン研修会 「診療介護報酬」	研修会 「地域課題」	研修会 「困りごと」	研修会 「えにしの会」	情報交換会

西5

R6.1.24	R6.2.27	R6.5.20	R6.9.10	R6.12.10	R7.2.18
研修会 「訪問リハビリ」	研修会 「歯科」	オープン研修会 「発達障害」	オープン研修会 「在宅における 栄養管理」	会議 「次年度検討」	研修会 「嚥下障害患者の在 宅支援」

■ 八幡在宅医療推進協議会

— 多職種による地域包括圏域活動 —

活動内容

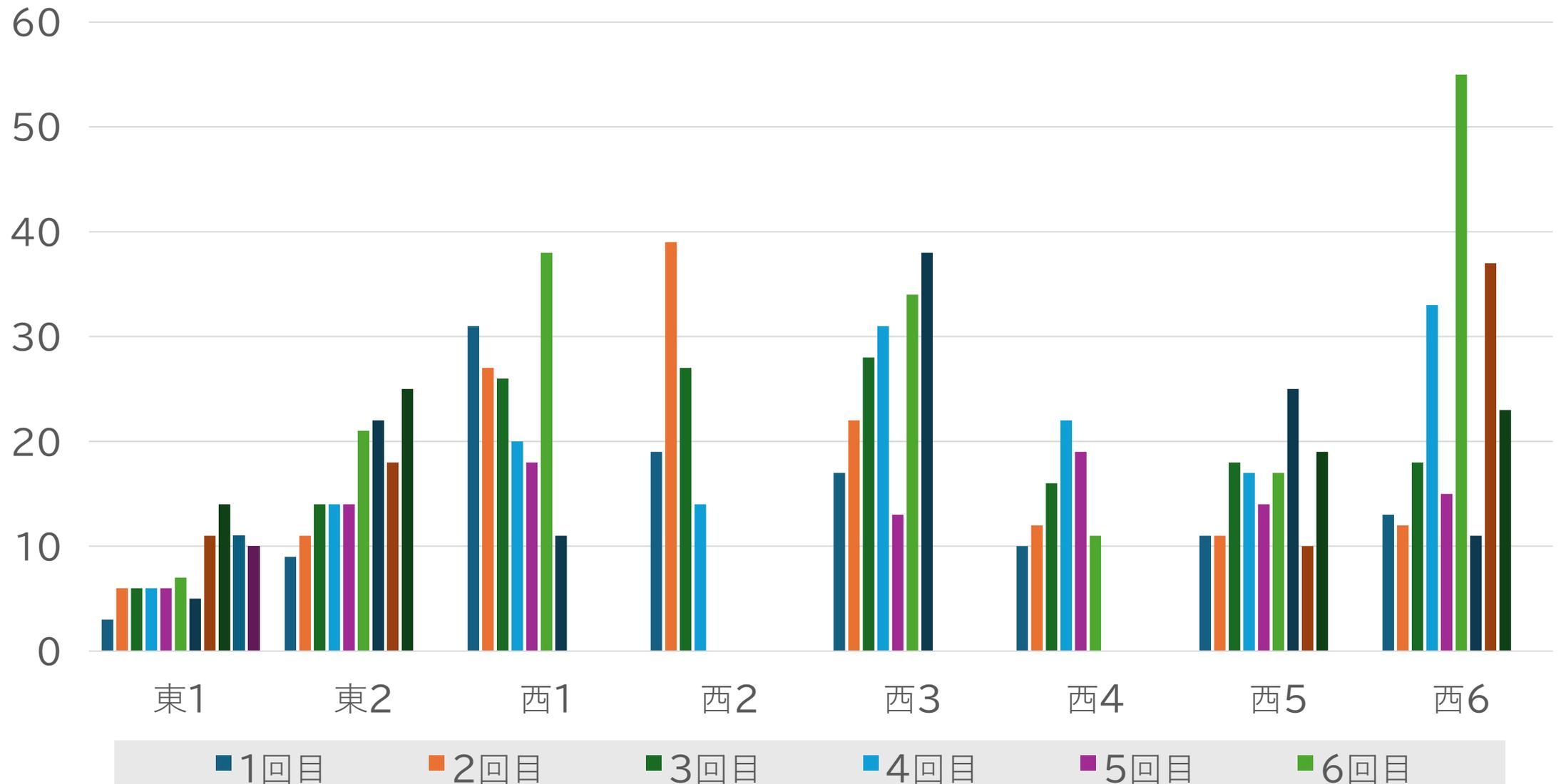
- ①八幡地区を地域包括支援センター圏域の**8つに分割**し、多職種チームを作る。
- ②各圏域ごとに在宅医療・介護に関わる専門職3名（医師を含む）が**世話人**として活動。
- ③研修会や交流会の企画は、各圏域の世話人に任せる。
- ④各圏域ごとにSNSグループを作り、情報伝達などを行う。
- ⑤各圏域の世話人は、2ヶ月に1度開催される「**八幡在宅医療推進協議会**」に出席。
- ⑥協議会にて各圏域の活動内容を報告し、共有する。

八幡在宅医療推進協議会

- ✓ 2ヶ月に1回開催
- ✓ 各圏域の世話人から1名出席
- ✓ 他圏域の活動内容を報告・共有
- ✓ 毎月の報告書や研修会案内ポスターを世話人用SNSにアップ
- ✓ 年度末に振り返り会（世話人全員参加）
- ✓ 各圏域の年度の活動内容を発表

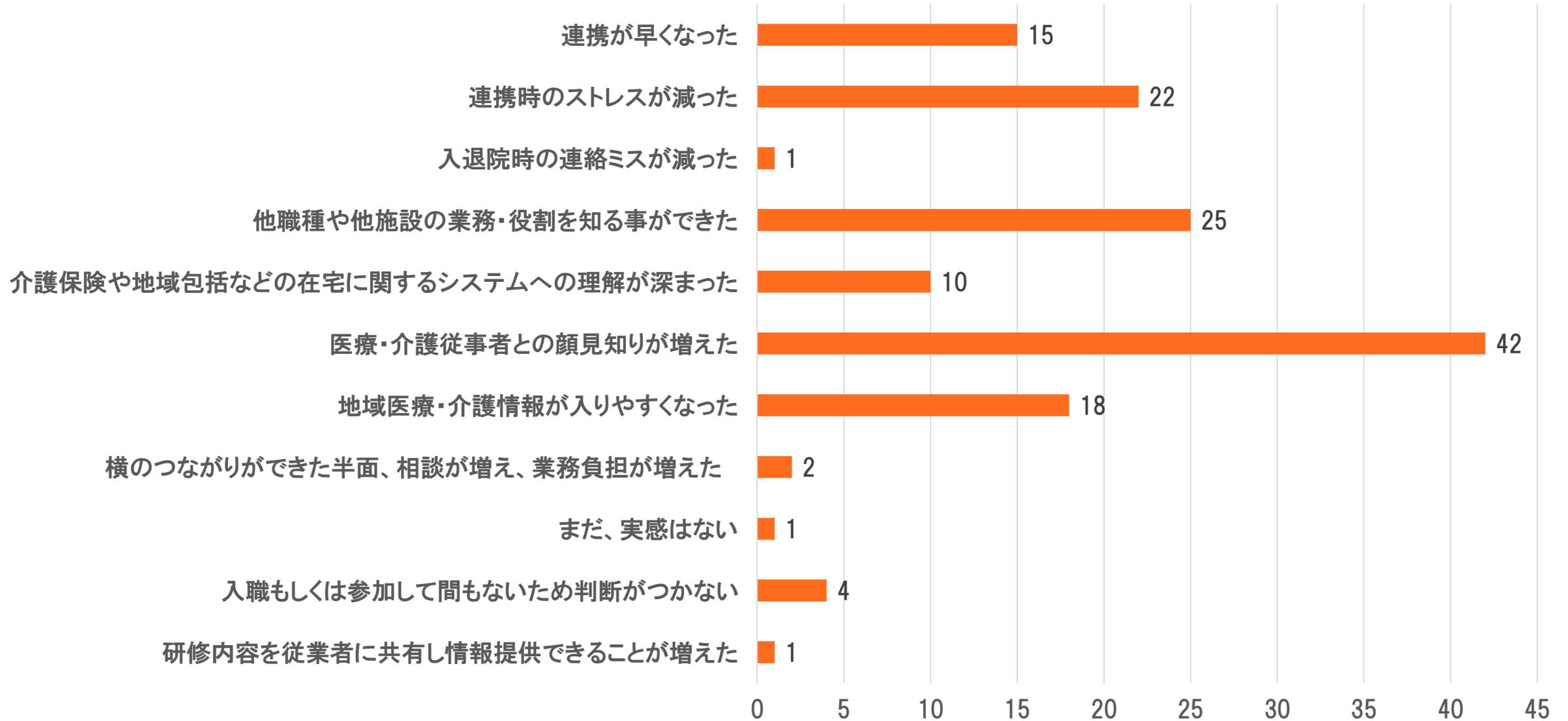


令和6年度 圏域活動参加者の推移



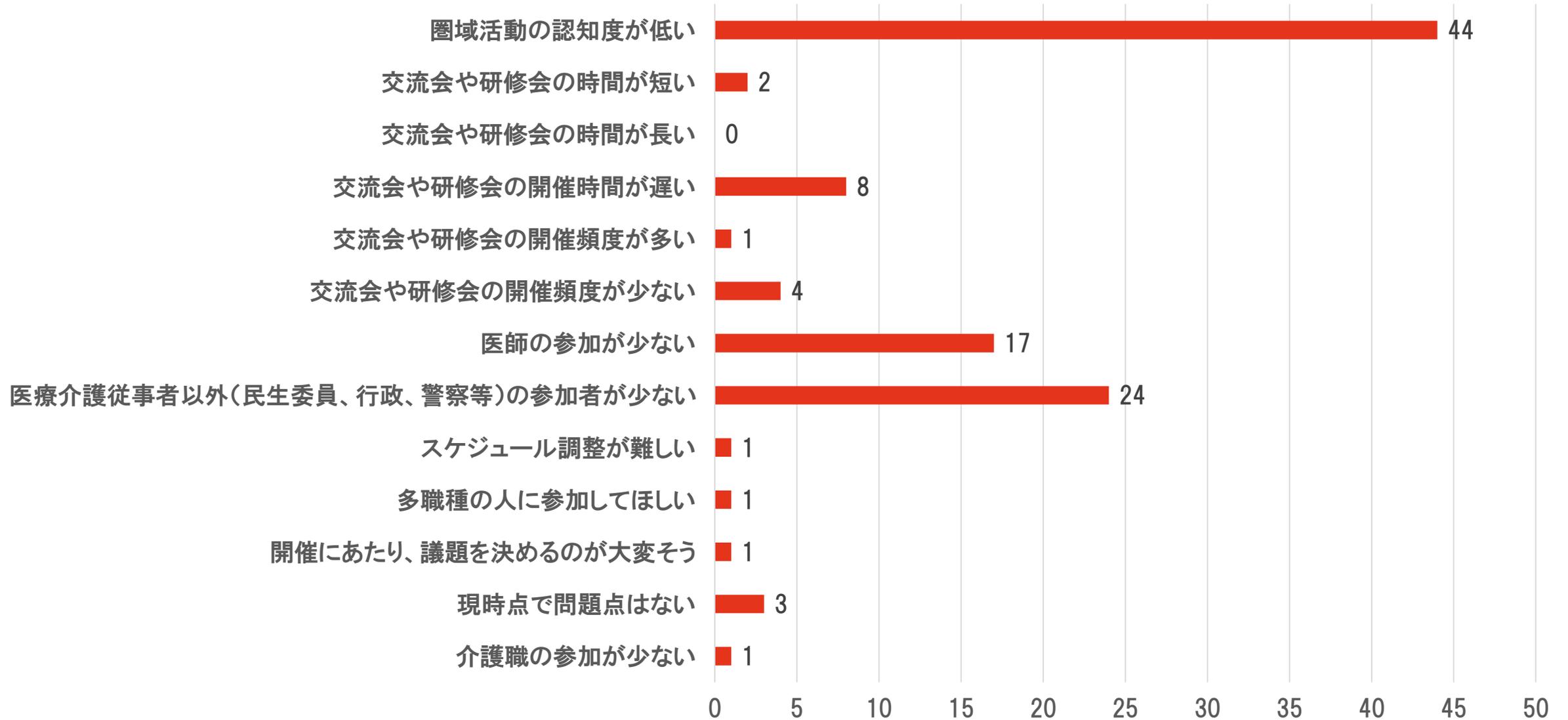
✓ 圏域活動が始まる前と後とで大きな違いは何だと思われますか？ (複数選択可)

(2025年2月)



✓ 今後、圏域活動を継続していく中での問題点は何だと思えますか？ (複数選択可)

(2025年2月)



本日の内容
～ 八幡医師会の取り組み ～

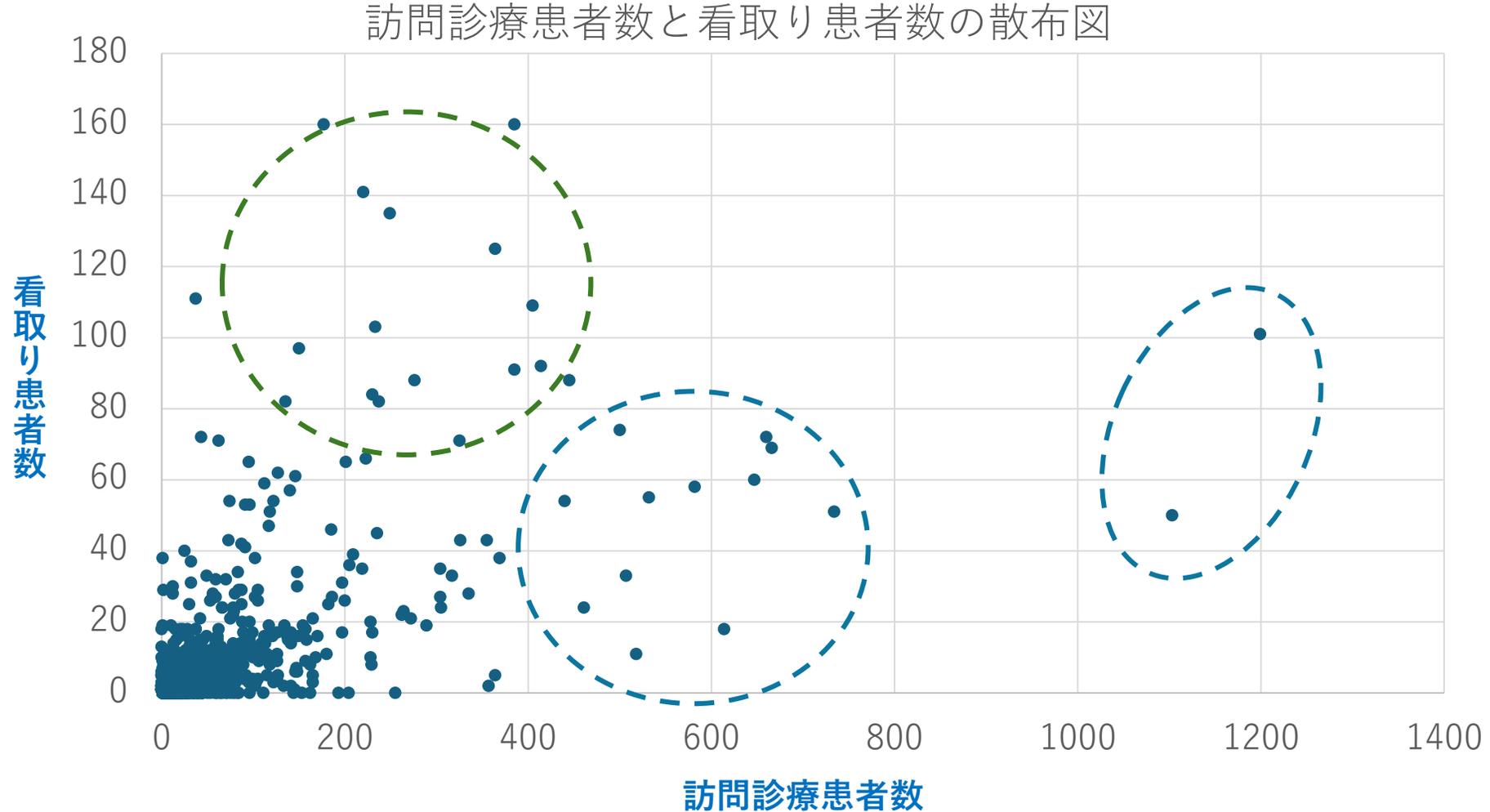
- 八幡在宅医会 (2016年11月～)
- 八幡在宅医療推進協議会 (圏域活動) (2024年2月～)
- 八幡医師会立はっちい診療所 (2025年4月～)
- 八幡地域医療研修パッケージ (2025年12月～)

■ 八幡医師会立はっちい診療所

背景

- ① 八幡地区は、在宅医、在宅看取り数ともに増加傾向。
- ② かかりつけ患者が通院困難になった場合、かかりつけ医が訪問診療を行うのが理想。
- ③ かかりつけ医が訪問診療を行っていない場合や、かかりつけ医が末期癌などの重度疾患に対応できない場合がある。
- ④ 北九州区域では在宅医療を担う医師の44%が60歳以上となり、在宅医の高齢化が進んでいる。
- ⑤ 在宅医療を実践的に学べる場所がない。
- ⑥ 医師会にも入会しない関東資本のメガ在宅診療所が進出してきた。

福岡県における訪問診療患者数と看取り数の関係 令和6年度



※「訪問診療患者数」とは、7月の1ヶ月間に訪問診療の算定を行った患者数（在宅患者訪問診療料Ⅰ及びⅡ）を指す

※「在宅看取り患者数」とは、前年度の4月1日～3月末の1年間に在宅で看取りを行った人数を指す。

※訪問診療患者及び看取り患者数がいずれも0人である医療機関は表示していない。

■ 八幡医師会立はっちい診療所

目的

- ① かかりつけ医が訪問診療を行っていない場合、末期癌など重度疾患に対応できない場合にその患者を受け入れる「**最後の砦**」としての診療所。
- ② 訪問診療を行なっているかかりつけ医をサポートする「**他の診療所の支援**」を行う診療所。
- ③ 在宅医療を学びたい医師の、「**実践的な学習・研修の場**」となる診療所。
- ④ 医師会が運営する「**中立的で中核の役割**」を担う診療所

はっちい診療所開院までの経過

(2024年)

8月9日 地区委員会にて「医師会立在宅診療所」設立について公表

9月9, 11, 12日 看護専門学院閉校ならび診療所設立について会員向け説明会を3回開催

10月18日 臨時総会にて診療所設立を承認

10月25日 理事会にて設立準備委員会の設置ならび委員について承認

10月29日 診療所の名称ならびにロゴマークを公募

11月7日 第1回設立準備委員会：開設までに必要な手続き、什器備品、部屋の改修、オンライン診療

12月5日 第2回設立準備委員会：医療機器選定、施設基準届出、名称を「はっちい診療所」に決定

12月20日 第3回設立準備委員会：電子カルテをセコムOWELに決定

(2025年)

1月9日 第4回設立準備委員会：オンライン診療システムをクリニクスに決定

1月30日 第5回設立準備委員会：レセプト請求・医療事務教育をココジムに委託、診療所ロゴ決定

3月10日 第6回設立準備委員会：開院式について検討

4月1日 はっちい診療所開院

4月2日 第7回設立準備委員会：開院式準備、診療所運営委員会の設置と委員の検討

4月12日 はっちい診療所開院式

はっちい診療所開院式

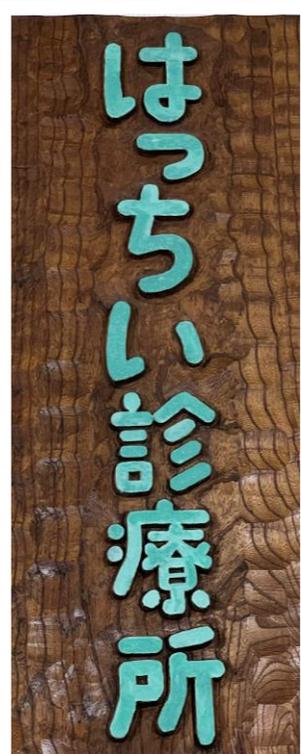
2025年4月12日（土）



はっちい診療所内にて



八幡医師会館視聴覚室にて



ご挨拶

所長
川本 京子



当診療所は「希望する場所で自分らしく生きるための人生の伴走者として寄り添う」を理念として2025年4月1日八幡医師会の中でスタートしました。重い病気になっても希望する場所で自分らしく生きる、それがご自宅でも施設でもかなえられるように職員一丸となり、治す医療だけではなく支える医療も行っていきたいと思っています。

また医師会立の診療所として、地域の先生方と連携し今までのかかりつけの先生方に継続して訪問診療を受けたい方の支援もしていきたいと考えています。



「はっちい」の
由来は八幡医師会＝
八医（はちい）です

診療対応エリア

お住まいの半径16km以内の方は対象となりますが、実際の診療についてはご相談下さい。

診療時間

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00-12:00	○	○	/	○	○	/	/
13:00-17:00	○	○	○	○	○	/	/

休診日：水(午前)・土・日・祝日・お盆・年末年始

アクセス

西鉄バス 西本町四丁目南より 徒歩3分
八幡駅入口第一より 徒歩6分
JR九州鹿児島本線 八幡駅より 徒歩8分



八幡医師会立

はっちい 診療所

在宅療養支援診療所



TEL 093-647-6000
FAX 093-647-6111

ホームページ



〒805-0062
福岡県北九州市八幡東区平野2丁目1-1 八幡医師会館内

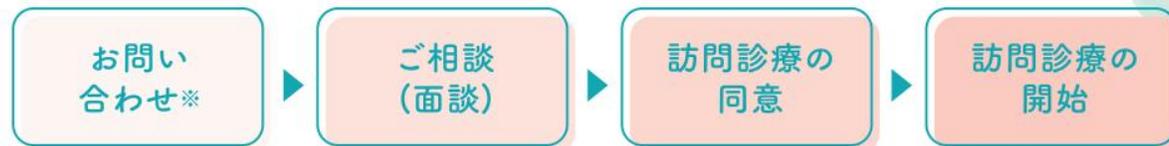
訪問診療について

病院へ通院することが困難になった方に対し、医師が定期的、計画的にご自宅に訪問して診療を行います。24時間365日、必要に応じて往診も行います。

進行がん・脳卒中後遺症・神経難病・認知症などの病気で通院困難な方が対象です。診療内容については個々にご相談ください。

訪問診療の流れ

※ ☎ 093-647-6000 診療時間
月～金曜日 9:00～17:00



診療時間内にお気軽にお電話下さい。またかかりつけ医、ケアマネジャー、病院の地域連携室にご相談して頂くこともできます。その後ご自宅、診療所内、入院中の方は病院で診療方針についてご相談させて頂き、同意を得た後、訪問を開始します。

医療費について

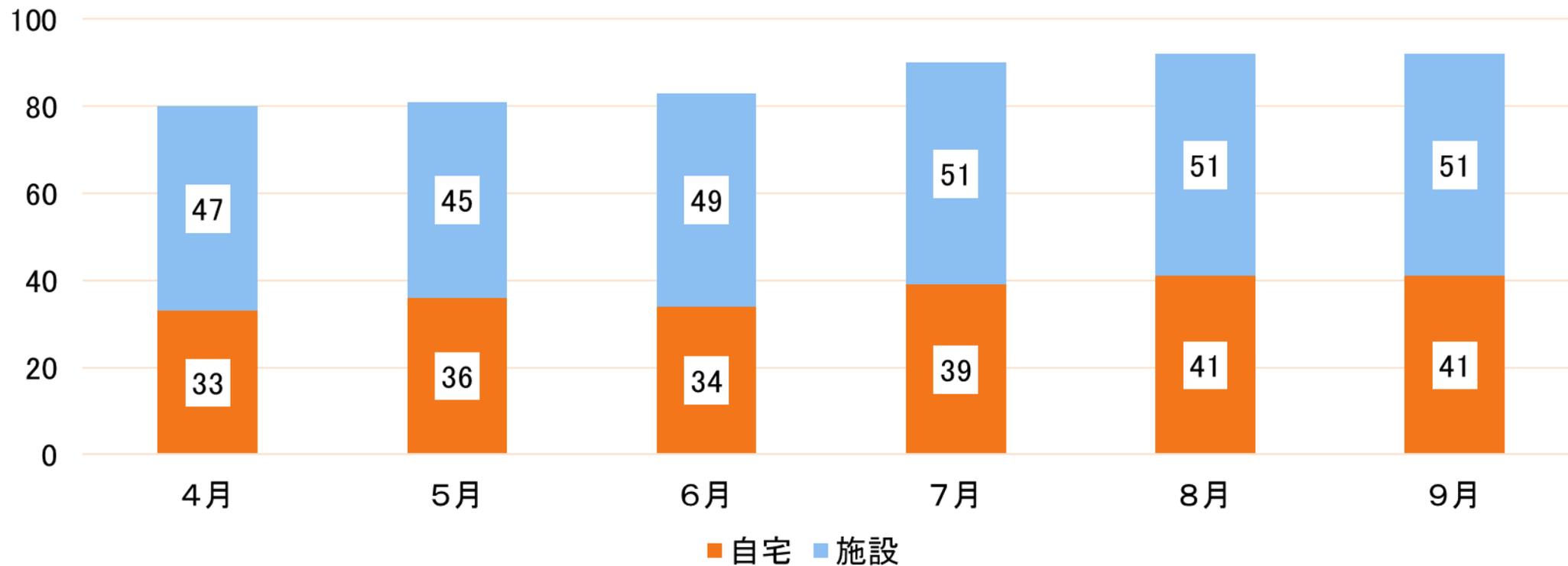
訪問診療は医療保険を使いますが、介護保険をお持ちの方はケアマネジャーと連携するために一部費用が発生します。また往診や処置の内容によって金額は変更します。

高額療養費制度や公費負担医療制度なども活用できます。具体的な費用は訪問診療のご相談の際にお問い合わせください。



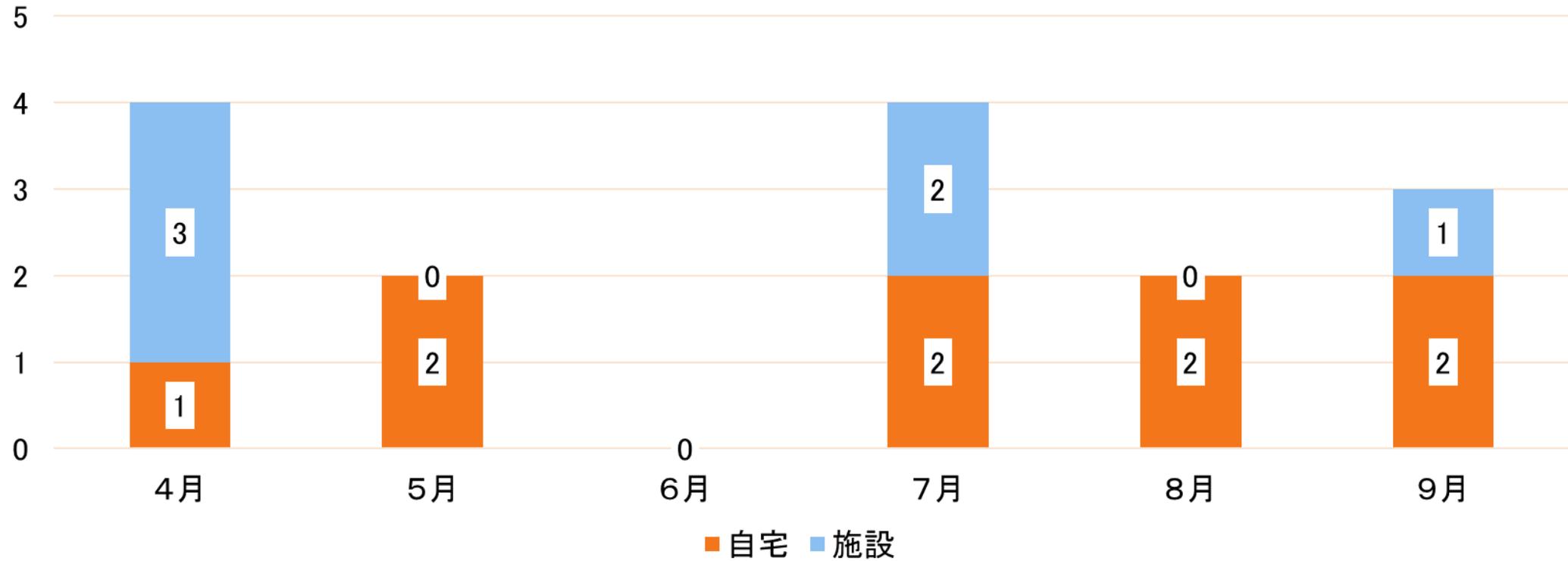
4月から9月の実績報告

在宅における実管理数



4月から9月の実績報告

看取り数



本日の内容
～ 八幡医師会の取り組み ～

- 八幡在宅医会 (2016年11月～)
- 八幡在宅医療推進協議会 (圏域活動) (2024年2月～)
- 八幡医師会立はっちい診療所 (2025年4月～)
- 八幡地域医療研修パッケージ (2025年12月～)

■ 八幡地域医療研修パッケージ

背景

- ① 大学や病院勤務では、地域医療や在宅医療を学ぶ機会が乏しい。
- ② 同様に、医師会の役割や活動に触れる機会がほとんどない。
- ③ 地域医療研修の受け入れ先によって、研修内容にばらつきが生じている。
- ④ 在宅医療を担う医師の高齢化が進んでおり、世代交代が必要。

目的

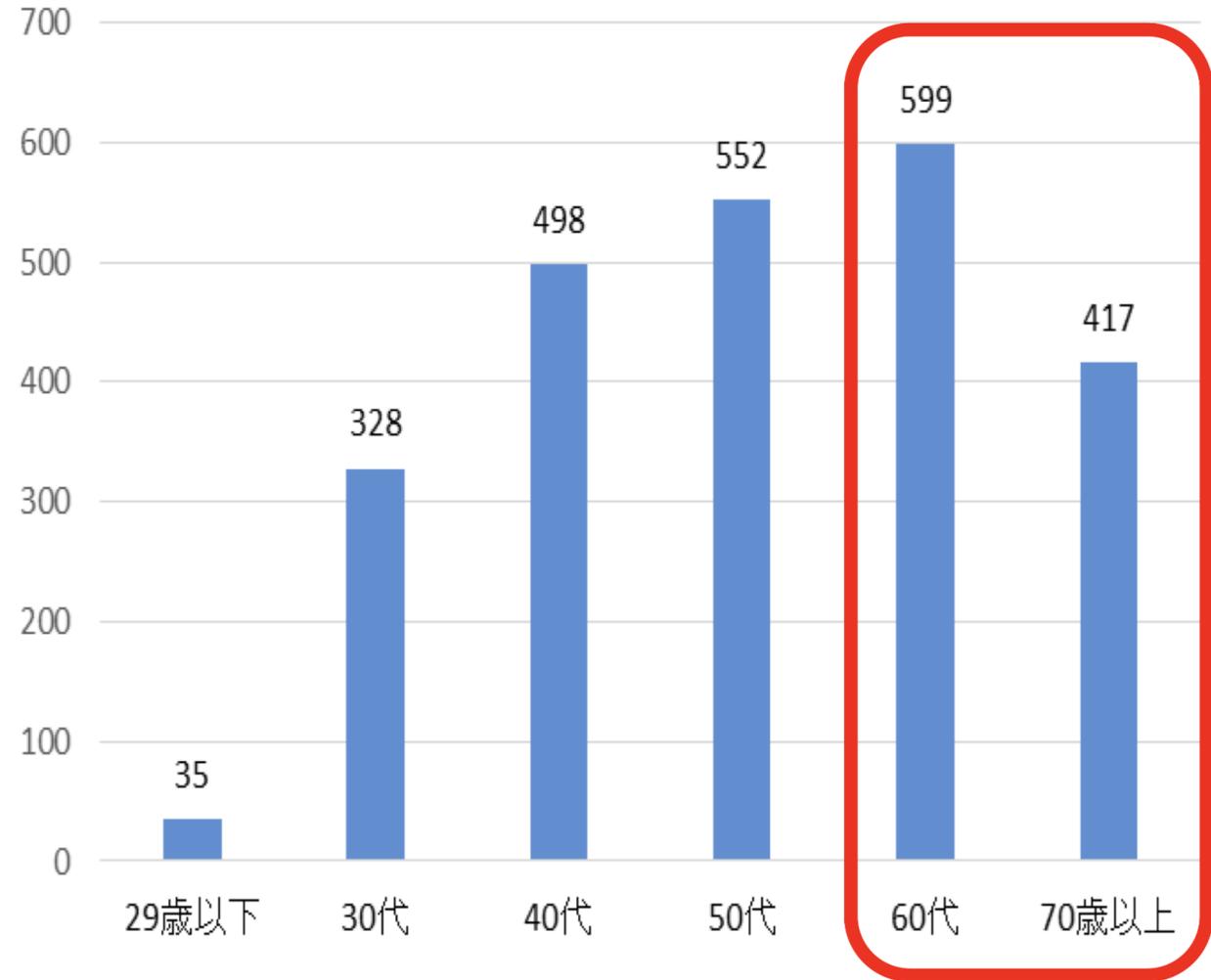
- ① 研修医の段階で在宅医療や多職種連携を経験することで、将来急性期病院に勤務しても「在宅を意識した診療」ができるようにする。
- ② 研修医のうちから医師会活動に触れることで、医師会の組織力・地域医療の基盤を強化する。

福岡県における在宅医療 に携わる年齢別医師数

(令和6年度 福岡県・福岡県医師会
による在宅医療定期調査より)

医師数(年齢別)

N=2,429



※医師数は、常勤・非常勤の医師の実人数を合計したものの。

■ 八幡地域医療研修パッケージ

臨床研修指定病院： JCHO九州病院、北九州市立八幡病院、製鉄記念八幡病院

地域医療研修協力医療機関： 総合療育センター西部支所、八幡東病院、
大平メディカルケア病院、はっちい診療所ほか

地域医療研修受け入れ医療機関： 八幡東西区の4つの診療所と1つの民間病院

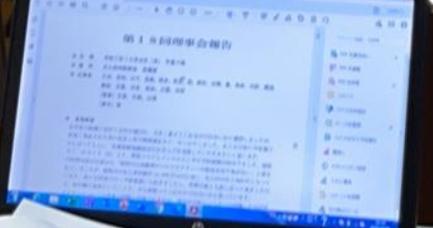
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	◎	◎	◎	慢性期病院	◎	◎
	◎	◎		慢性期病院	◎	
	在宅医会		広報委員会		理事会	
7	8	9	10	11	12	13
	リハ病院	◎	療育センター	◎	はっちい診療所	◎
	リハ病院	◎	療育センター	◎	はっちい診療所	
		介護認定審査会		東2交流会	医療福祉センター	
14	15	16	17	18	19	20

理事会参加の風景



研修医

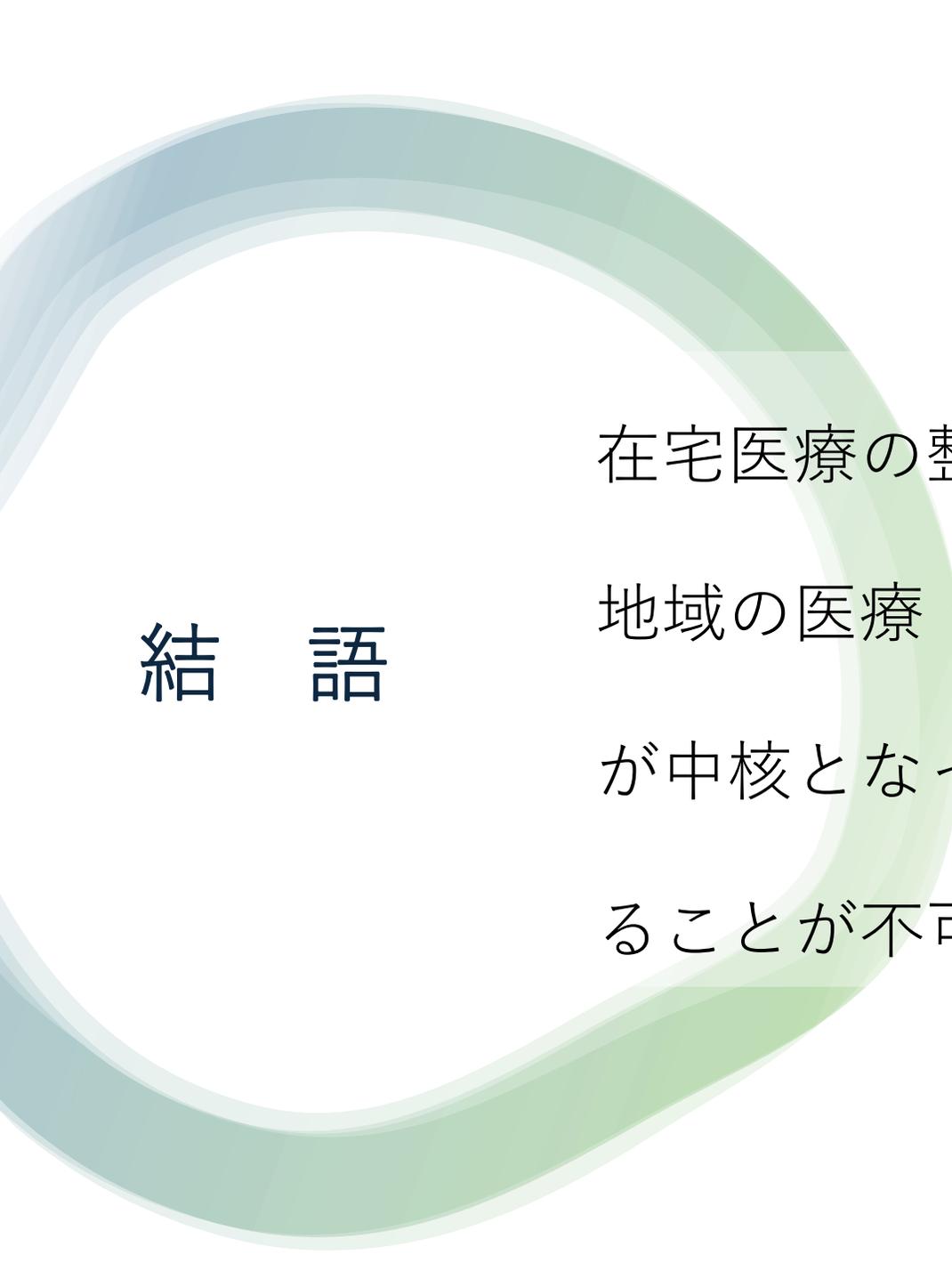
河野 忠美



研修医

今後の課題と 展望

- ✓ 圏域活動において、高齢者施設の関係者、医療専門職以外の地域を支える人たちとの連携強化
- ✓ 八幡在宅医会と医師会立はっちい診療所と共同で、土日祝日の看取りだけでなく、平日を含めた緊急往診に対応
- ✓ 在宅医療に必要な医療機器の貸出事業
- ✓ 増え続ける高齢者救急対策として、在宅医療も含めた急性期病院からの下り搬送の連携体制構築



結 語

在宅医療の整備は、営利追求型の事業者ではなく、地域の医療・介護・福祉関係者が協働し、医師会が中核となって公平で持続可能な仕組みを担保することが不可欠です。